

「この1年でやったことアンケート」の結果

名前	所属	やったこと	実施時期
勝見 輝夫		<ol style="list-style-type: none"> 1. サンゴの定点観察：月に1～2度決まったサンゴの成長の様子や変化を観察しました。 2. 漂着ごみの片付け：再び流れ出ないように浜の上に集積しました（量が多すぎる）。 3. サンゴやその他の生物の多様性の一部をブログで紹介しました。 4. 太陽光発電装置を設置しました。 	
大堀健司	エコツアーふくみみ 石垣島沿岸レジャー安全協議会	<ol style="list-style-type: none"> 1. エコツアーで、観光客にサンゴ礁のすばらしさ、現在・将来の課題、日常でもできるサンゴ礁保全活動等を伝えた。 2. ホームページでサンゴ礁で遊ぶ時の注意点を紹介した。 3. 小中学校の授業で子どもたちにシュノーケリングをさせた。 4. グラスボートと研究施設のコラボレーションでサンゴ礁を学ぶプログラムを実施した。 5. 海岸清掃を行った。 6. エコツアー業者が集まってサンゴの定点調査を一年間行った。 7. 「日本全国みんなで作るサンゴマップ」の普及に努めた。 8. 「コーラルウォッチ」の普及に努めた。 9. 海辺の環境教育フォーラムを開催した。 10. キロロの玉城千春さんといっしょに「サンゴの唄」をうたった。 11. 子どもとなるべく海に行く時間を作った。 12. 海の生物オリジナルナイロンたわしを作成した。 13. クーラーなしで一年間過ごした。 14. 一人で移動するときはなるべく車ではなくより燃費のいいオートバイに乗るようにした。 15. 生ごみはGシステムで分解した。 16. 電球を蛍光灯タイプに買い替え、年末に一個だけLED電球を買ってみた。 17. 海で泳いでいてサンゴの上に立っている人を見たら注意した。 18. 洗濯や食器洗いには合成洗剤を使わないようにした。 19. 石垣市のエコドライブステッカー（実はふくみみデザイン）をみんなに宣伝した。 20. 「どうなってるわけ！？40年後」ポスター&チラシを助成金で作成し配布した。 21. 「しょうこちゃん下敷き」の作成をお手伝いした。 	
大見謝辰男	沖縄県中央保健所	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開発工事現場をパトロールし、赤土等流出防止対策を指導しました。 2. 公民館で「親子サンゴ礁教室」の講師をしました。 3. 職場全体の勉強会で、「赤土汚染とサンゴ礁」の講義をしました。 4. 基本的に通勤は自転車を使っています。 	
山本拓良 吉本昌弘	株式会社 沖縄環境保全研究所	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族5組（計15名程度）でサンゴ礁の浅瀬へ行き、サンゴ礁の生き物を観察しました。 2. 子供と夏に海へ遊びに行き、帰りに海岸のゴミを拾いました。 3. 会社の後輩にサンゴについて教えました。 4. 自家用車を低燃費車に変えました。 5. 自然再生事業について詳しく学ぶために、「自然再生事業ガイドライン」を読みました。 6. 買い物時にレジ袋は使用しませんでした。 7. コピー等は基本的に両面印刷または裏紙を使用しています。 	夏に月1回くらい。
亀田和成	NPO法人日本ウミガメ協議会 附属黒島研究所	<ol style="list-style-type: none"> 1. 黒島周辺のサンゴのモニタリング調査（サンゴの種組成、被度、オニヒトデ数など）を行いました。 2. 所蔵しているサンゴ標本の管理、一般展示及び解説しました。 3. マリンガイドサービスによるサンゴ及びサンゴ礁生物の解説しました。 4. 沖縄県立博物館・美術館と共催による企画展示「造礁サンゴ 楽園をつくった偉大な建築家」を開催しました。 	2009年12月1日 通年 通年 2010年2月5日～

名前	所属	やったこと	実施時期
與世田兼三	(独)水産総合研究センター 西海区水産研究所石垣支所	1. 環境省西表石垣国立公園子どもパークレンジャー事業主催の「マングローブ探検隊」の講師として、石垣支所資源増殖研究室の山田秀秋室長が「マングローブ域の生態系」について説明しました。学習の目的は、体験学習を通じて環境保全の必要性を学ばせることとしました。石垣市立野底小学校全児童38名が参加しました。	平成21年7月8日
		2. 石垣市立伊原間中学校の総合学習の一貫として「スジアラの体験放流」を実施しました。学習の目的は、スジアラの稚魚放流を通して、地域の重要な産業となっている漁業に対する関心を高め、また、サンゴ礁の現状を理解させ、並びに子供達が直接稚魚を放流することによって、栽培漁業を学びながら海や生き物などの自然に対する関心を高めることとしました。放流には、総勢45名(子供37名+教師8名)が参加し、3,000尾の稚魚を放流しました。	平成21年7月16日
		3. 小学5、6年生を対象とした石垣市立川平小中学校の総合学習「スジアラの体験放流」を実施しました。学習の目的は、スジアラの稚魚放流を通して、地域の重要な産業となっている漁業に対する関心を高め、また、サンゴ礁の現状を理解させ、並びに子供達が直接稚魚を放流することによって、栽培漁業を学びながら海や生き物などの自然に対する関心を高めることとしました。放流には、総勢14名(子供12名+教師2名)が参加し、4,000尾の稚魚を放流しました。	平成21年10月28日
		4. 西海区水産研究所石垣支所・生態系保全研究室では、石西礁湖で長期間回復がみられない枝状サンゴ群集の回復阻害要因を調べました。その結果、幼生の加入不足などが主要な要因と考えられました。	
冨坂 峰人	日本工営株式会社 沖縄事務所	1. 土壌保全の日の緑肥播種イベントに参加した。	
		2. 沖縄県農村振興技術連盟技術発表会で「暗渠排水及び堆肥投入による赤土等流出防止対策効果観測」について発表をした。	2009年7月
		3. 農業農村工学会九州支部会で「暗渠排水及び堆肥投入による赤土等流出防止対策効果観測」について発表をした。	2009年10月
		4. 土木学会 地球温暖化小委員会 第17回地球環境シンポジウムで、土壌微生物を活用した土壌侵食対策など赤土等流出防止対策への取り組みを発表した。 タイトル「土壌微生物を活用した土壌侵食対策」(土壌藻類等を活用した対策) 「赤土等流出防止対策への取り組み」(植生沈砂池、簡易観測法など)	2009年9月
		5. 海洋博研究センターサンゴシンポジウムで海外で取組んだ事例 「インドネシア国バリ島・クタ海岸におけるサンゴ移植・再生の取り組み」をポスター発表した。	2009年11月
		6. 農地に設置された沈砂池に堆積した土砂を、農地に還元すると共に、発生源対策として利用する方法について研究した。	
玉城正博	沖縄県文化環境部自然保護課	1. 通勤は自動車ですが、2人で利用しています。	
		2. 自宅での冷房の設定温度は28度。	
		3. 無駄な電気は使わないように、不用な部屋の消灯に心がけています。	
		4. 家庭内の太陽光発電導入を考えています。	
		5. レジ袋は使いません。	
		6. テレビで海(サンゴなど)の番組があるときは、子供と一緒に見て、問題点などを考えたりしています。	
		7. 県外に研修があったときに、沖縄のサンゴの現状などを県外の方に伝えました。	
		8. 子供の学校の宿題、課題などで、海の生き物などを観察しました。	
沖縄県文化環境部自然保護課		1. オニヒトデの大量発生している海域及び大量発生の兆候の見られる海域において、オニヒトデの駆除事業を実施しました。	
		2. 知念村でサンゴ礁体験学習会を開催予定です。	2010年3月6,7日
		3. 離島を含めた沖縄県全体のサンゴ分布状況等を把握するために、今年度は、沖縄本島の調査を実施しました。	
		4. サンゴ保全のための普及啓発として、写真展示を行いました。	
		5. 環境教育等の一環として、沖縄環境アジェンダ21が企画するフェアに出展を行いました。	
		6. 関係機関へサンゴ保全のためのプログラム集を配布しました。	
		7. 執務室内の冷房の設定温度は28度にしていました。	

名前	所属	やったこと	実施時期
平山 千尋	沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課	1. 海岸清掃に参加しました。	
小林靖英	環境省那覇自然環境事務所	1. 自宅のシャンプーを無添加のものにしました。	
		2. 基本的に自宅では冷暖房を使っていません。	
		3. 風呂の残り湯を洗濯に使っています。	
		4. できるだけ地元でとれた農水産物を食べています。	
		5. 子ども（2人）と一緒に海に遊び行って、サンゴ等の海の生き物を観察しました。	平均2回／月くらい
		6. スノーケルでサンゴの観察をしました。	夏に週1～2回くらい
		7. 年賀状にサンゴ礁の写真を使いました。	
		8. 買い物はマイバッグを持参しています。	
		9. 通勤は公共交通機関（バス）を使っています。	
		10. 真栄里海岸の清掃ボランティアに参加しました。	
		11. 石垣空港で“美ら海農産物”を買いました。	
		12. 土屋会長の本「サンゴ礁のちむやみ」を買って読みました。	
佐藤 大樹	環境省那覇自然環境事務所 石垣自然保護官事務所	1. 石垣に赴任（平成21年4月）して以来、たまに海に行ってサンゴを見ています。	
		2. 海岸清掃のボランティアに参加しました。	
		3. 土壌保全の日のイベントに参加し、クロタラリアを撤きました。	
		4. レジ袋はもらわないようにしています。	
		5. 通勤はなるべく自転車ですしています。	
		6. 内地に出張に行ったり実家（新潟）に帰る際には、八重山の農作物や海産物をお土産にしています。	
		7. 自然再生協議会の懇親会等、飲み会の最後では、残り物を出さないように、残っている食べ物を食べました。	
環境省那覇自然環境事務所、石垣自然保護官事務所		1. サンゴ群集のモニタリング調査を行い、サンゴなどの現状を把握した。	
		2. 水温や堆積物の調査を行い、サンゴ礁の攪乱要因の把握に努めた。	
		3. 常時モニタリングシステムによる海況観測を行い、Webサイトで情報提供した。	
		4. 白化等のサンゴの被害情報を収集し、関係者に情報提供した。	
		5. サンゴの再生を手助けするため、サンゴ群集が着生した着床具約5,000個を移植した。	
		6. サンゴを食害するオニヒトデの分布状況を調査し、関係者に情報提供した。	
		7. 残されたサンゴ群集を保全するため、オニヒトデ駆除を行った。	
		8. 石西礁湖自然再生協議会の事務局として、協議会やワークショップを開催した。	
		9. 海岸清掃イベントを開催した。（真栄里海岸、明石海岸）	
		10. 自然観察会「海の自然教室」（スノーケリング）を開催した。（米原）	
		11. 小中学校を対象に、総合学習の中で身近な海との関係を学び・体験する「子どもパークレンジャー」を実施した。（野底小学校、小浜小中学校）	
		12. 事務所内の冷房の設定温度は28度。室内気温30度以下では冷房なし。	
環境省自然環境局自然環境計画課		1. 「サンゴ礁生態系保全行動計画」の策定のため、検討会を開催し、行動計画（案）を作成した。	
		2. 重要サンゴ礁ネットワーク戦略作成に向け、国際サンゴ礁イニシアティブ東アジア地域会合を開催した。	
		3. 東アジアを中心とした地域におけるサンゴ礁分布図作成に着手した。	
		4. 環境省内の冷房設定28度。	